

平成22年度第2回契約監視委員会が、平成23年3月9日(水)、労働者健康福祉機構18階会議室において開催されましたので、その議事概要についてお知らせいたします。

平成22年度 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 第2回契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成23年3月9日(水) 11:05 ~ 11:50 労働者健康福祉機構18階会議室	
委員	委員 竹内啓博(公認会計士) 委員 小宮山訓章(JILPT監事)(議事進行) 委員 吉原和行(JILPT監事(非常勤)) (阿部正浩(獨協大学経済学部教授)委員欠席) (田極春美(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員)委員欠席)	
審議対象期間	平成22年度7月～平成23年3月に契約締結された案件	
1. 競争性のない随意契約 (平成22年度7月～平成23年3月契約締結)	5	件
2. 一者応札・一者応募 (平成22年度7月～平成23年3月契約締結)	1	件
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり	下記のとおり (注) 委員の最終的な意見は、回答欄に記入した。

意見・質問	回答
機構側から、審議案件について契約概要を説明し、全体をご審議いただいた。	
1. 競争性のない随意契約および一者応札・一者応募(平成22年度7月～平成23年3月契約締結)	
契約内容等について適切に行われていると思料する。確認したい点がいくつかある。	
【案件 1】 「電が関連絡事務所の原状回復工事の委託契約案件」	
電が関連絡事務所の原状回復工事の委託契約案件であるが、値引き交渉の実施、見積もりの詳細にわたる価格の点検などの検討を行うなど努力されていて評価できる。今後の賃貸借契約の締結にあたっては、テナントとして入居する場合難しい条件ではあるが、原状回復業者を選定できるような契約条件にできないかを検討してはどうか。	事務所の賃貸借契約する場合には、経営委託されている場合が多く系列の建築工事業者が指定されている場合がほとんどであり難しいとは思いますが、今後、賃貸借契約を行う際には充分調査を行う。
【案件 2】 「QUOカード購入」	
QUOカード購入の件については、定価販売ということもあるという前提で、近隣の書店で購入するという合理的な判断だと思料する。ディスカウント業者から購入ということもあり得ないわけではないが、独立行政法人がそのような業者から購入するというのはどうかという一面もあるだろう。	QUOカード単体で購入する他、同様のケースとして調査アンケートの協力謝礼として図書券の購入を含めてアンケート調査会社に委託するケースがあるが、必ず、領収書の原本を提出させることとしている。
JILPTに関しては、一般競争入札への移行がほとんど終わっており、問題はない。今後の新規案件についても適切な契約手続きをお願いしたい。 今回審議対象の随意契約の5件について、特に異存ない。	

意見・質問	回答
<p>【案件 3】 「労働統計データベース改修の委託」</p>	
<p>労働統計データベース改修の委託については、A社が改修期間について辞退理由としている。期間が12月1日から3月11日となっているが、実施を早めにするなど改修期間をもう少し長くすることによって、応札が複数者にするように、今後の入札に活かして欲しい。</p>	<p>各種案件ごとに入札公告期間や改修期間などを検討して決めているが、今後も辞退理由を明らかにしてより多くの業者が入札できるよう改善していく。</p>
<p>辞退者へのヒアリングをきちんと行っており、一者応札への対応が行われていると思料する。難しい案件ではあるが、情報収集することは重要である。</p>	
<p>引き続き努力をしていただきたい。</p>	<p>システム開発など、今後締結する案件では、既に著作権を発注者側に帰属するよう契約条項を設け改善措置を講じている。</p>
<p>落札率が高いという点について、落札率は予定価格に依存するものであり、落札率が低いということは、予定価格が高く設定されていただけではないかという見方もできる。また、予定価格の積算が精緻であればあるほど落札率は高くなってしまいう傾向がある。</p> <p>本件は競争が働きづらい案件ではあるが、適性な予定価格の設定と契約金額を引き下げる目的のために、情報収集を継続して行うことが不可欠である。</p> <p>競争性を確保し、一者応札を回避するため複数者応札にする、あるいは単に契約金額を下げればよいというレベルではなく、市場の状況がどのようになっているかといった高いレベルの取組が必要になってきている案件であると思料する。但し、一者応札は、国民の眼では競争性が確保できていないのではないかと疑念を抱かせてしまうものであるから、引き続き取組みをお願いしたい。</p>	<p>今後も適正な市場価格の調査を行い、適切な予定価格の作成を行うなど仕様書なども含めた見直しを引き続き行うこととしたい。</p>
	<p>【委員最終意見】 自ら改善のため色々な工夫しておられることは評価できる。今後とも自ら努力することを継続願いたい。</p>